



学校法人城西大学創立50周年記念コンサート
 地域と大学を結ぶ広報誌
 50th Anniversary concert of Josai University

創立50周年
 Vol.13
 2015.6

城西

増刊号



ニュース

創立50周年記念コンサート

新たな幕開けを 清らかに美しく

平成27年度入学式を挙
 大きな節目の中 伝統の一翼を担って人間形成を

マハティール元首相講演会
 「平和への知恵——
 未来のリーダー・国際市民へのメッセージ」



目次

- 02 [ニュース]
大きな節目の中
伝統の一翼を担って
人間形成を
平成 27 年度入学式／学位記授与式／
スポーツ表彰式
- 04 [ニュース]
創立50周年記念コンサート開催
新たな幕開けを清らかに美しく
- 05 [ニュース]
薬学部とカゴメ 共同研究結果を発表
お洒落な「JUカフェ」誕生
- 06 [紀尾井町ニュース]
マハティール元首相講演会
「平和への知恵」
ウブサラ大学と合同シンポジウムを開催
- 09 [シリーズ] 先輩訪問
白井市長 伊澤史夫さん
- 10 [ニュース] 白衣式／留学生歓迎会
[シリーズ] 浮世絵
- 11 [図書館だより]
[展覧会] エヴァ・ヴァリエ作品展開催
- 12 [シリーズ] 学生互版ワイド
学内外で活躍する城西人たち
- 14 [ニュース]
[お知らせ]
- 15 [エリア紹介]
越生町 勇壮な越生ばやしと夜空を彩る花火
日高市 500万本の曼珠沙華が一面を真紅に
東武線沿線情報
「KAWAGOE DISCOUNT PASS」
発売中

題字：創立者 水田三喜男 先生

今号の 表紙

4月20日の創立記念日に行われた50周年記念コンサート。金子三勇士さん、半田美和子さん、コハーン・イシュトヴァーンさん、そして友情出演のセルゲイ玲子さんによる華やかで美しい演奏に会場は酔いしれました。表紙の写真はアンコールに応じて滝廉太郎作曲の「花」を披露する、左から金子さん、半田さん、コハーンさん。



ニュース

大きな節目の中

伝統の一翼を担って 人間形成を

入学式

2015.4.4

地域や海外の人たちとも交わって

—— 水田理事長



水田宗子理事長

満開の桜が舞う中、平成27年度の入学式が2015年4月4日、総合体育館で執り行われました。大学院、学部、別科、短期大学、健康市民大学合わせて1959人が新たに城西の仲間となりました。

水田宗子理事長は式辞で「今年は創立50周年の大きな節目の年を迎えている」として、施設の充実や講演会などさまざまな事業に取り組んでいることを紹介しました。そのうえで、140を超える海外姉妹校と学術交流協定を結んでいるグローバル教育に触れ、「皆さんにとって姉妹校はもう一つのキャンパス。在学中にそのキャンパスを訪れ、海外の若者たちと交流してほしい」と呼びかける一方で、地域との協働にも言及し、「温かい地域の人たちと交わり、自然

に触れて人間形成の基本としていただきたい」と述べました。

また、森本雍憲学長は「新入生の皆さんは、歴史の節目の中にいる。本学の伝統の一翼を担い、城西魂をしっかりと身につけて固めていただきたい」と語りました。来賓祝辞で、大連外国語大学日本語学院の徐国飛党書記は「両大学がより一層緊密な関係を結び、共同教育のレベルをさらに高めることに力をそそぎたい」と述べました。

これに対し新入生を代表して現代政策学部社会経済システム学科の松山遥さんは「建学の精神にあるように、学問に励みつつ、人間として成長できるよう、しっかり頑張っていきたい」、短期大学ビジネス総合学科の原口美咲さんは「これからの2年間という限られた時間の中で、できるかぎり多くのことを学び、社会で活躍できる大人に成長したい」とそれぞれ誓いの言葉を述べました。

また、入学式では、39年にわたり本学に奉職された黄色瑞華先生に対する名誉教授授与式も行われました。黄色瑞華先生は、教養課程主任や教務部長を歴任、別科長として本学の留学生教育の実践に大きな貢献をされました。



宣誓する松山遥さん

母校愛を育て

—— 森本学長

平成26年度の学位記授与式(並びに卒業証書授与式、修了証書授与式)が2015年3月20日、総合体育館で執り行われました。この日、城西を巣立った卒業生は1740人で、これまでの卒業生は7万8733人となりました。式典では学位記や証書が授与されるとともに、学業やスポーツに特に素晴らしい活躍をしてきた学生たちが特別表彰を受けました。



式辞で水田宗子理事長は「どうか前向きに力を奮って日本の高齢社会を守り、さらに発展させ、住みよい環境をつくっていくことにリーダーシップを発揮してほしい。自国の利益にとらわれない、もっと大きな視点から世界の平和と繁栄を考える真の国際人になるとともに、地域の発展、活性化のために力を注いでほしい」と、はなむけの言葉を贈りました。また森本雍憲学長は告辞で「今年は創立50年の大きな節目。伝統の重みをかみしめるとともに大学の歴史の一翼を担って母校愛を育ててもらいたい」と述べました。

学生代表の大森慈大さん(薬学部)と戸口沙也香さん(短期大学)が「緑豊かなキャンパスで学ぶとともに素晴らしい友人たちを得られたことは人生における大きな財産。学んできたことを糧として社会に貢献できるよう努力していきたい」などと答辞を述べました。

理事長特別表彰者は次の通り(敬称略)。

【学業賞】石井宏幸(経済学部)▽千葉彩加(現代政策学部)▽

赤司かずみ(経営学部)▽長島朝日(理学部)▽秋元勇人(薬学部)▽橋爪あかね(短期大学)
【スポーツ賞】村山紘太(経営学部)

学費補助・特別支援者卒業報告会

感謝を忘れず後輩の模範に

卒業式に先立ち、父母後援会から学費の補助を受けた卒業生12人と東日本大震災の特別支援金を受けた卒業生10人の報告会が清光会館で開かれました。報告会には卒業生のほか、水田宗子理事長、森本雍憲学長をはじめ三原雅夫父母後援会長らが出席しました。

父母後援会の学費補助を受けた卒業生を代表して、北田拓也さん(現代政策学部)は「入学の際に入院中で意識のなかった父は翌年に亡くなった。一度は大学を辞めることも考えたが、学費補助の制度があることを知って頑張ることを決めた。成長した姿を父に見せることは出来ないが、後輩の模範となるよう頑張っていきたい」と決意を述べました=写真。



また、福島県相馬市出身で隣町の新地町役場に就職が決まった門馬聡さん(経済学部)は「震災の影響で父が職を失ったが、支援のおかげで大学生活、そして部活動を続けることができた。今後は、震災で支援していただいた感謝の気持ちを忘れずに町の振興推進課で現地の方たちを支えていきたい」と抱負を述べました。

ニュース スポーツ表彰式

2015.3.20

4団体と28人が表彰

平成26年度のスポーツ優秀団体・優秀選手表彰式が2015年3月20日、清光会館で開かれました。今年度は4団体と28人が表彰を受けました。表彰式では森本雍憲学長と白幡晶学生部長の挨拶の後、それぞれの団体、選手に表彰状と記念の盾が贈られました。表彰を受けた団体と選手は次の通り(選手は敬称略、学年は3月現在)。



【団体】男子駅伝部(第91回箱根駅伝7位など)▽陸上競技部(400mリレー日本選手権4位など)▽女子ソフトボール部(第9回関東春季リーグ優勝など)▽男子ソフトボール部(第9回関東春季リーグ優勝など)

【個人】直塚政哉(経営学部4年)、増田優貴(現代政策学部4年)、佐藤弘樹(同)、根本界(同)=以上、硬式野球部▽村山紘太(経営学部4年)、寺田博英(同)=写真、平塚祐介(同3年)、室井勇吾(同)、菊地聡之(同2年)、織田修平(同1年)=以上、男子駅伝部▽赤司かずみ(経営学部4年)、田邊ちひろ(同)、山口竜哉(同3年)、佐藤拳太郎(同2年)、堀井浩介(同)、鍛冶木峻(同1年)=以上、陸上競技部▽井出大貴(経営学部4年)、松永浩治(同)、三原久人(同)、水戸隆靖(同)=以上、サッカー部▽對馬弥子(経営学部4年)、中島芹香(同)、田上沙也加(同)、木村美奈都(同)、金澤麻美(現代政策学部4年)=以上、女子ソフトボール部▽金山明(経済学部3年)=準硬式野球部▽鳥山和也(経営学部4年)、引間健太(現代政策学部4年)=以上、男子ソフトボール部

創立50周年記念コンサート開催

2015.4.20

新たな幕開けを清らかに美しく



創立記念日の2015年4月20日、清光ホールで創立50周年を記念したコンサートが開かれました。2007年にブダペスト商科大学と学術交流協定を結んで以来、ハンガリーとは多くの学生が行き来して交流を深めています。記念コンサートは、ハンガリーに関係の深い演奏家の方々を招いて開かれました。

コンサートに先立ち、水田宗子理事長は挨拶で「本日は創立50周年の最初の幕開けの行事です」と創立記念日に触れた後、「ハンガリーとの関係は私どもが国際教育を推進するうえで大きな力となっています。また、ハンガリーはリストをはじめ著名な音楽家を輩出。活躍中の演奏家の方々を招いた本日のコンサートをお楽しみください」と述べました。続いて来賓のセルダヘイ・イシュトヴァーン駐日ハンガリー大使は「ハンガリーから要人が来る際は必ず城西大学を訪問して素晴らしい業績を直接見てもらっています。本日、ハンガリーの音楽を皆さんに聴いていただけることは本当にありがたい」と感謝の言葉を述べられました。

日本人の父とハンガリー人の母を持つ金子三勇士さんのピアノ演奏によるショパン「ポロネーズ第6番変イ長調『英雄』」からコンサートはスタート。ブダペスト生まれのコハーン・イシュトヴァーンさん（クラリネット）、半田美和子さん（ソプラノ）、セルダヘイ大使の夫人



コハーン・イシュトヴァーンさん（クラリネット）



金子三勇士さん（ピアノ）、半田美和子さん（ソプラノ）



セルダヘイ玲子さん（ピアノ）と金子三勇士さんの連弾

で友情出演のセルダヘイ玲子さん（ピアノ）によって、リストやバルトークの作品をはじめ、中田喜直^{なかだよしなお}作曲の日本の歌曲やアンコールの滝廉太郎作曲「花」など14曲が披露されました。日本ハンガリー友好協会の猪谷晶子専務理事や協会の会員の皆さまや地域の方々、教職員や学生・留学生など約500人が、晴れやかで美しい演奏に聴き入りました。

共同研究結果を発表

2015.1/2015.5

「野菜ジュースで食後血糖値が改善」

——薬学部・金本郁男教授の研究室がカゴメと共同研究

薬学部の金本郁男教授の医薬品安全性学研究室はカゴメとの共同研究で、野菜ジュースを食前に飲むことによって、メタボリックシンドローム(メタボ)の原因の一つである食後の血糖値の上昇が抑えられることを、ヒト試験で明らかにしました。また、野菜ジュースを食事中に飲んだ場合は、食後の血糖値が速やかに低下することを確認しました。

野菜には血糖値の上昇を抑える成分が含まれていることがわかっており、今回は摂取しやすい野菜ジュースが食後の血糖値上昇に与える影響を調べました。ヒト実験には研究室の奥山愛さん(6年)ら11人が参加。野菜ジュース(200ml)を白米(106g)摂取の15分前、30分前、60分前に飲む▽野菜ジュース(同量)と白米(同量)の同時摂取▽白米(150g)のみ摂取——の5パターンで実施しました。その結果、野菜ジュースを白米摂取前に飲むと、白米のみを摂取した場合に比べて食後の血糖値の上昇が低く抑えられ、特に30分前が最も高い効果が出ました。



ヒト試験に参加した研究室のメンバーと金本教授(左奥)

研究結果は2015年1月の日本病態栄養学会と同5月の日本糖尿病学会で発表されました。金本教授は「昨冬に始めた試験で好データが得られたことから、カゴメに野菜ジュースの提供を持ちかけて共同研究が始まった」と経緯を説明。「朝忙しい人にとっては、野菜サラダよりも野菜ジュースの方が手軽。朝起きがけに野菜ジュースをコップ1杯飲むだけで食後血糖値が改善でき、長期的にはダイエットの効果もある。今後は糖尿病予備軍の人たちにも効果があることを明らかにしていきたい」と話しています。



血糖値も自分たちで測定した

食堂がリニューアルオープン

2015.4.4

お洒落な「JUカフェ」誕生



第1食堂棟の1階の食堂が4月から、お洒落な「JUカフェ」として生まれ変わりました。JUカフェ(630席)は、水田美術館を設計した米エール大建築科のスニール・ボールド教授と大林組の設計部による設計で、企業や学校での健康サポートや施設等でのレストラン経営などを幅広く手がける「エムサービス」(東京都港区)が運営しています。



2015年4月4日の入学式当日にオープニングテープカットが行われ、中央委員会などの学生団体のメンバーをはじめ、サッカー部や硬式野球部、女子ソフトボール部などの部員、教職員など約400人が見守りました。水田宗子理事長は挨拶で「50周年記念事業の一つである食堂の改装がなり、大変うれしく思います。この食堂が長く私たちの大学の学生たちの健康と勉学生活を支える場であるよう、食堂を世話し大切に育ててほしい」と呼びかけました。水田理事長や森本雍憲学長、岩浅壮太郎・中央委員会委員長らがテープカット=写真上=した後、学生たちは真新しいカフェに入り、「きれい」「すごい」などと声を上げ、焼き立てのパンやクッキーを試食していました=写真下=。

紀尾井町で多彩な50周年

マハティール元首相講演会

2015.5.21

「平和への知恵 ——未来のリーダー・国際市民へのメッセージ」



マハティール氏を囲んで関係者による記念撮影

創立50周年を記念して元マレーシア首相のマハティール・ビン・モハンマド氏を招いた講演会「平和への知恵——未来のリーダー・国際市民へのメッセージ」が2015年5月21日、東京紀尾井町キャンパス1号棟ホールで開かれました。本学は50周年記念事業の一環として、内外から世界的に影響のある方、優れた研究業績を残された方などを招いてグローバル人材育成に資することを目的とする水田三喜男記念「グローバル・レクチャー」シリーズを展開することになり、マハティール氏の講演会がそのスタートになりました。水田宗子理事長は講演会を記念して、マハティール氏に名誉博士号を授与。法人本部内に「アセアン研究センター」を設立した

ことを明らかにしました。

マハティール氏はマレーシア第4代首相。開業医から政治家に転じ、1981年から2003年まで首相を務めました。アジアを代表する知日のリーダーで、日本の経済成長を見習おうという「ルックイースト（東方）政策」を唱え、強力なリーダーシップにより国力を飛躍的に増大させました。

水田理事長は「アジアの平和と繁栄、共存をもたらした偉大な指導者のメッセージを聴くことができるのは大変名誉なこと」と挨拶。マハティール氏は講演で「マレーシアは5つの国と国境を接し領土問題を抱えているが、国際司法裁判所の判断に従って戦争を起こすことなく解決してきた」と述べたうえで、「日本は他国との争い

に戦争という手段を使ってはならない。他の国を巻き込んで戦争は最大の犯罪という価値観を広めなければならない」と訴えました。

ホールはアジア関連団体や政府の関係者、教職員や学生・留学生らで満席。両大学のサテライトでも学生らが、アジアを代表するリーダーの貴重な話に熱心に聞き入っていました。

この日開所したアセアン研究センターは東京紀尾井町キャンパス2号棟に置かれ、杉林堅次副学長と元マレーシア観光大臣のン・イェンイェン氏が所長に就任。今後、アセアン地域と日本における学術交流・共同研究を推進するとともに、広く国際関係を支える人材の育成に努めていきます。

リムリック大学と学術交流協定を締結

2015.3.18

ハウリン大臣が記念講演

学校法人城西大学は2015年3月18日、アイルランドのリムリック大学と学術交流協定を締結しました。アイルランドの大学との協定締結は初めてで、これで海外の大学との協定締結は27カ国・地域で140校となりました。

ブレンダン・ハウリン・アイルランド経済再生・公共支出改革大臣やアン・パリントン駐日大使ら一行はこの日、東京紀尾井町キャンパス1号棟を訪れ、ホールで調印式に臨みました。ハウリン大臣や米倉弘昌・前日本経団連会長の立ち会いのもと、協定を締結しました。

2013年12月、エンダ・ケネー・アイルランド首相が来日された折に、



米倉日本経団連会長（当時）との間で、日本とアイルランド共同で人材育成を行うとの約束がなされ、アイルランド

側はリムリック大学、日本側は城西大学と決まりました。こうした経緯もあり、金原主幸・日本経団連国際経済本部長とパリントン大使も同席での調印式となりました＝写真。

調印式の後、ハウリン大臣が「アイルランド経済再生の改革の重要性」をテーマに記念講演を行い、留学生らと歓談しました。

イベント

参加者全員による
パネルディスカッション

ウプサラ大学と合同シンポジウムを開催 2015.3.30

「スウェーデンと日本における 女性学および文学」

創立50周年を記念し、スウェーデン・ウプサラ大学との合同シンポジウム「スウェーデンと日本における女性学および文学」が2015年3月30日、東京紀尾井町キャンパス1号棟ホールで開かれました。パネリストとして本学から水田宗子理事長はじめ4人、ウプサラ大学からアン・オールベルク文学部長はじめ4人が参加しました。

ウプサラ大学は1477年に創設された北欧最古の大学。ヨーロッパの最も権威のある高等教育・研究機関の一つであり、15人の大学関係者(卒業生、教員など)がノーベル賞を受賞しています。昨2014年10月、ウプサラ大学の卒業生で前駐日スウェーデン大使のラーシュ・ヴァリエ氏の紹介で、本学の一行がウプサラ大学を訪問したことが縁で、この日の合同シンポジウムが実現しました。

水田理事長が「スウェーデンと日本の将来のコミュニケーション



の出発点になることを願っています」と歓迎の挨拶。その後、ヴァリエ氏も参加して二つのセッションで、両国の女性文学や女性表現、スウェーデンが先進国のジェンダー研究などを巡ってそれぞれ発言や討論があり、最後は参加者全員によるパネルディスカッションが行われ、オールベルク文学部長は「本日のシンポジウムで日本文学と日本文化、そして城西大学について多くのことを学びました」と感謝の言葉を述べました。

「V4+日本」セミナー 2015.3.11

「科学技術」をテーマに活発な意見交換

外務省と本学などが共催して「V4+日本」セミナーが2015年3月11日、紀尾井町キャンパス1号棟ホールで開かれました。セミナーは今年で3回目。本学が密接な学術交流を続けているV4諸国

(ハンガリー、ポーランド、チェコ、スロヴァキア)の大使館職員や本学の教職員、留学生ら約160人が参加。今回は「科学技術」をテーマに活発に意見交換しました=写真。



セミナーの冒頭、水田宗子理事長が「セミナーを開催できることは喜びであり、光栄」と歓迎の挨拶。藪浦健太郎外務政務官とスロヴァキアのミハル・コットマン大使が基調スピーチをしました。その後、「V4+日本」の協力の可能性など3つのテーマで熱心に議論が展開されました。

これに先立ち、4カ国から学生6人を招いた「V4+日本」学生会議が2月10日、キャンパス3号棟の国際会議室で開かれました。学生会議は昨年に続いて2回目で、城西大学や城西国際大学の学

生や留学生約100人が「グローバル化する時代の多文化共生」をテーマに意見を交わしました。

紀尾井町キャンパス5号棟オープン 2015.2.12

同窓会活動の新たな拠点に

東京紀尾井町キャンパス3号棟の東側に新しいキャンパス5号棟がオープンしました=写真。5号棟は地下1階、地上5階建ての事務所兼マンションを改装。延べ床面積は約1400平方メートルで、1階には、入試・広報センター、維持協力会・父母後援会・同窓会室が入り、2～4階はミニシアター、セミナー室、学習室など、5階は海外姉妹校からの中・長期滞在者用のゲストルームとなっています。

2015年2月12日に行われたオープニングセレモニーで水田宗子理事長は「50周年の記念事業としてシンポジウムなども予定されている。5号棟はそうした受け皿になるとともに同窓会活動の拠点になるでしょう」と挨拶しました。また鈴木文雄同窓会長は「日本の心臓部ともいえるこの地で、同窓生に情報を発信していきたい。同窓会室を活用し、大学の発展のために尽くしていきたい」と述べました。





特別公開講座 2015.2.24

「伊藤若冲の諸作品と 仏教の『本覚思想』の主張」 ——米プリンストン大名譽教授・清水義明氏

創立50周年を記念した特別公開講座「伊藤若冲の諸作品と仏教の『本覚思想』の主張」が2015年2月24日、東京紀尾井町キャンパス3号棟で開かれました。日本美術史の第一人者である米プリンストン大名譽教授(美術・考古学)の清水義明氏に、江戸時代中期に活躍した絵師・伊藤若冲の諸作品の宗教的側面についてお話しいただきました。

伊藤若冲(1716~1800年)は、光琳の装飾画風を取り入れるなどして独特の造形感覚による個性的な画風を生みだしました。写



若冲の作品を説明する清水名誉教授

實的な動植物の絵も多く「奇想の画家」として知られます。また「本覚思想」とは、悟りはもともと一切の衆生に本来的に具有されているとの考えで、主に天台宗を中心として仏教界全体に広まったとされます。

清水名誉教授はスライドで若冲の諸作品やさまざまな涅槃図を紹介しながら「芸術的な若冲の諸作品に宗教的な意味合いが交差する。それが若冲作品の価値で、本覚思想につながっていく」などと話しになりました。

特別講演会 2015.3.27

「世界の中の俳句」 ——前駐日スウェーデン大使、ラーシュ・ヴァリエ氏が講演

前駐日スウェーデン大使、ラーシュ・ヴァリエ氏の特別講演会「世界の中の俳句」が2015年3月27日、東京紀尾井町キャンパス3号棟で開かれました。

創立50周年を記念したもので、教職員や国際俳句交流協会の会員の皆さん、エクステンション受講者の皆さんら約100人が、興味あふれるヴァリエ氏の講演に耳を傾けました。

ヴァリエ氏は、駐日スウェーデン大使館勤務時に京都大学文学部国史学科で学び、ストックホルム大学から日本古代史の研究により博士号を取得しました。その後、駐韓大使を経て2011年から2014年まで駐日大使を務め、14年に日本国の旭日大綬章を受章されました。日本文学の翻訳のほか、句集など多数を出版され、退

特別講演会 2015.5.8

天津外国語大学 修剛学長が特別講演

創立50周年を記念した天津外国語大学の修剛学長による特別講演会「大学のグローバル人材・高度職業人教育に関する取り組み」が2015年5月8日、東京紀尾井町キャンパス3号棟で開かれました=写真。

15年5月8日 学校法人城西大



修学長は日本語教育が専門で、現在の中国の大学学長の中で唯一日本を専門とする学者です。中国の日本語教育の学会である中国日本語教育研究会の会長を務め、現在は中国教育部の外国語教育指導委員会・日本語委員会の委員、中国翻訳協会副会長の要職にあります。本学と天津外国語大学は、2007年10月に学術交流協定を締結。両大学の大学院、学部にこれまで300人を超える学生が学びにきており、また教員の交流も行われています。

修学長は、副題「中国の大学教育改革の方向性と日中大学間の協働の可能性」が付いた特別講演で「国際化(グローバル)人材と高度職業人の育成は、中国と日本の大学の共通認識で目標でもある。交流の歴史と実績、文化的・距離的に近いことなどから、中日大学間の協働には大きな可能性がある」と指摘したうえで、「天津外国語大学と城西大学、城西国際大学の行動がモデルの一つになればいい」と結ばれました。

特別講演会 2015.3.27

官後は城西国際大の特任教授に就任いただきました。

ヴァリエ氏は講演で、日本の俳句や川柳を西洋に紹介した多くの文学者を紹介したうえで、「西洋の詩の中にも俳句の雰囲気を見つけることができる」などと例を挙げて説明されました。



講演するラーシュ・ヴァリエ氏

先輩訪問

各界で活躍する卒業生を紹介する「先輩訪問」。今回は千葉県白井市の伊澤史夫市長(59)を白井市役所に訪ねました。

大きな目標を持って 最後までやり抜いて

白井市長 伊澤 史夫さん (1978年経済学部卒)



——統一地方選で再選おめでとうございます。前回、職員を辞して立候補されました。

「4年前に前市長が市内を走る北総線の運賃問題から議会の不信任を受けて議会と市が対立。また市民も対立する構図になってしまいました。千葉ニュータウンの東京寄りの西側がこの市にあり、夢を買って移り住んだ人たちのため、そして私も白井の出身ですから、愛する白井を正常で和やかな街にしたいと決意して立候補しました。北総線の運賃値下げや、3・11後の選挙でしたから、小中学校や市庁舎の耐震化など市民の安心・安全を高めます、という公約を訴えて当選できました。今回は公約を実現、市内にはない警察署の分庁舎の誘致にめどがついたことなどの実績が評価されたのだと思います」

——学生時代の思い出をお聞かせください。

「2年目に川角から坂戸のアパートに移りましたが、坂戸は本当に学生を大事にしてくれる街でしたね。近くのとんかつ屋の手伝いをしたおかげで、青年団の人たちと付き合いが生まれ、祭りで神輿をかついだり、ゴルフに行ったり。アパートに鍵をかけるものですから、帰ると近所の子どもたちが部屋で遊んでいて、勉強をみてやったこともあります。アパートでは時間がけっこうあったので、梅原猛さん、司馬遼太郎さん、吉川英治さんら古典から宗教、小説といろんな分野の本を手あたり次第に読みました。また、先生を中心にゼミの仲間との付き合いが思い出になっています。そして、相談ごとなどで教授陣が学生と向き合ってくれました。本当に良い指導者に巡り合ったと思います」

——白井市の将来像についてお聞かせください。

「少子・高齢化を少しでも遅らせたい、そして白井市の魅力を全国に発信していきたいですね。白井市は都心から30^分、日本の玄関口の成田空港からも30^分と大変、立地に恵まれています。農地もあり、優秀な技術を持つ企業が入る工業団地もあります。特産の梨は3年前からタイに輸出し、今年も別の国に輸出します。また、買い物ににくい高齢者の方を対象に、商工会や農協とも協力して採りたて野菜や果物の御用聞きや行

商をする`待ちから攻めにいく農業、も計画しています。職住接近の循環型社会を目指しています」

——アイデアがいっぱいですね。

「私は3年前から小学6年生と中学3年生を対象にした『社会科特別授業』もやっています。年1回ですが、そこでは、白井のいい所をアピールして、将来も白井に留まってもらい、外に出ないでほしいという願いをこめています(笑)。(アイデアは)行政マンを33年間やってきた蓄積が大きいと思いますね」

——座右の銘をお聞かせください。

「聖徳太子の『和を以て貴しとなす』ですね。大学の時にこの言葉に出会い、職員になった翌年から千葉ニュータウンの国家プロジェクトがスタートしました。都内や横浜など先進自治体から田舎の白井に来るわけですから、いろいろな要望や苦情が寄せられる。対立ではなく、諸問題に向かい合う際にこの言葉が支えになりました。現在もこの精神で、市民や議会、職員に接しています」

——後輩にメッセージをいただけますか。

「子どもたちの授業の際にも言うんですが、まず大きな目標を持って、そこに向かって一生懸命勉強してほしいと。最後まで諦めずにやり抜くんだという強い意志を持って人生を歩んでほしい。大学生にも同じことが言えるんじゃないですかね。それと友達をいっぱいつくってほしいですね。それが人生の財産になりますから」

■白井市

千葉県の北西部、印旛地域の最西部に位置し、東部は印西市と八千代市、南部は船橋市、西部は鎌ヶ谷市、北部は柏市の5市に接している。白井町だった1979年に北総鉄道が開通し、沿線のニュータウン地区への入居が始まると、人口が一気に増加した。2001年4月に市制を施行し、現在の人口は約6万3000人。特産品は梨で、全国でも有数の産地として知られており、栽培面積は千葉県内で1位となっている。

ニュース

白衣式

2015.5.26

新入生459人 真新しい白衣に心も新た

薬学部の新入生459人を対象にした「白衣式2015」が2015年5月26日、清光ホールで開かれました。従二和彦学部長が白衣式の趣旨説明をした後、水田宗子理事長、森本雍憲学長、従二学部長が、学生代表の五十嵐結月さん(薬学科)、石川克海さん(薬科学科)、藤野彩那さん(医療栄養学科)に白衣を授与しました=写真。

水田理事長は、白衣で真っ白に埋まったホールの新入生に向かい、「白衣を着た皆さんは、さきほどとは違った方たちに映ります。私たちは皆さんの日々を応援し、将来の成功を心から祈っています」と呼びかけました。これに対し、新入生を代表して薬科学科の青山明日香さんは「この真新しい白衣に袖を通した瞬間、薬学という新たな分野に第一歩を踏み出したことを強く感じました。



私たちは、医療学徒としての名誉を自覚し、強い責任感をもって我が国および世界の医療を支える人材となります」と力強く宣誓しました。

留学生歓迎会

2015.5.26

グローバル時代のリーダーを目指して

今春入学した留学生の歓迎会が2015年5月26日、経営学部棟2階のカフェで開かれました。大連理工大学や大連外国語大学、東西大学からの留学生をはじめ、中欧諸国やアセアン諸国などからの留学生約130人と教職員約30人が参加しました。参加者は食事をとりながら歓談、楽しいひとときを過ごしました。

水田宗子理事長は挨拶で「相互理解を進め、異文化を理解してグローバル時代にリーダーシップを取れる人たちになってほしい」と激励しました。来賓の天津外国語大学の李運博・大学院長らの挨拶に続いて、大連理工大学からの程丹燕さん(経営学研究所)とインドネシアからのグレン・マクティ・チャフヤ・プラタ・スルヤさん(別科)の2人が歓迎会への感謝の言葉を述べました。

アトラクションでは、大連外国語大学からの辛沢思さん(経営学部)が弾き語りを披露したほか、ベトナム人学生グループ12人(別科)が、ポップス調の曲(邦題「共に手を携えて」)を力強く歌い=写真、盛んな拍手を受けていました。



シリーズ

浮世絵

～水田コレクションより～

水田美術館所蔵の浮世絵コレクションは、城西大学創立者・水田三喜男により収集されました。浮世絵からは美しさと共に、何ともいぬ歴史の懐かしさが感じ取れます。当時の人物や風俗などが、生き生き描かれている作品をシリーズで紹介していきます。

『蚊帳美人図』梅祐軒勝信

禿の差し出す手紙に蚊帳から身を乗り出す遊女。手に煙管を持ち、蚊帳の外には煙草盆が置かれ、遊女のくつろぎのひとときが描かれている。大振りな鹿の子絞りの葉を散らした着物と下げ髪は、18世紀初頭の風俗だ。体の半分を蚊帳の中に入れる構図により、頭が際立ち、蚊帳の向こうに着物が透けて見えるという艶めかしい表現となっている。蚊帳は夏の夜を情緒あるものにする格好の道具立てであり、浮世絵美人画に好んで描かれた。

創立50周年を記念して、水田美術館では収蔵する浮世絵コレクションの名品を紹介している。



絹本着色(41.6cm×58.7cm)江戸時代・正徳～享保(1711～36年)頃

図書館だより

「図書館地域アドバイザーミニ講演会」を開催

「日本とアメリカ合衆国の生活から見たもの」

水田記念図書館では昨年度から図書館をよく利用される地域の方に本の魅力や読書の大切さを紹介する活動など、学生たちが少しでも本好きになれるようなアドバイスを頂く「図書館地域アドバイザー制度」を設け、現在7名が活動されています。

その一つとして2015年5月19日に図書館視聴覚室において、図書館地域アドバイザーによるミニ講演会、第3回ライブラリーラウンジ「日本とアメリカ合衆国の生活から見たもの」を開催し、61人が参加しました。

講師の松本光代さんは1964年に、ご家族とともにニューヨークに移住。コロンビア大学ティーチャーズカレッジにおいて英語教授法修士資格を取得され、その後ニューヨークとカリフォルニアでバイリンガル講師として長年

活躍されました。

ご講演では、アメリカの歴史と現代のつながりや肌で感じられた日本との生活の違いなどについて、盛り沢山のお話をいただきました＝写真。参加者は聴講するだけでなく、グループによるディスカッションを通して今まで気づかなかった問題に関心を持つことができました。参加者アンケートでは、「歴史は苦手だったが、アメリカの歴史について興味を湧いた」「将来留学を考えているので、大変興味深い内容で参加して良かった」などの感想があり、外国文化に関心を深めることができた講演会となりました。今後も地域アドバイザーのさまざまなご経験を生かした講演会や本の紹介など、学生への読書推進を支援する活動を続けていただきます。



グループディスカッションの様子

「学生選書2015 Part1」を開催



4月13日から25日の間、学生自身が図書館で購入する図書を選べる「学生選書2015 Part1」を開催しました。学部構成に合わせて用意された新刊書約500冊を対象に選書し、46人が参加、112冊を選書しました。また、初の試みとして、学生が参加しやすいように入館ゲート前での開催も行

い、友達と一緒に熱心に選書する学生の姿も見られました＝写真。

参加者アンケートでは「普段、自分のアンテナにひっかからないような本も置いてあって、刺激的だった」「自分の選んだ本が後輩の役に立つと思うとうれしい」という学生選書ならではの感想もありました。

展覧会

エヴァ・ヴァリエ作品展開催

2015.2.18～3.14

日本の謠本を用いた作品など32点

スウェーデンの工芸作家、エヴァ・ヴァリエさんの作品展が2015年2月18日から3月14日まで、水田美術館で開かれました。

ヴァリエさんは、ラーシュ・ヴァリエ前駐日スウェーデン大使の夫人。最初の来日の際に大学の被服学科に在籍し、帰国後にテキスタイルや機織りを学びました。大使の赴任先の韓国や日本で古書の紙の美しさに魅せられ、紙糸や麻糸を織る紙工芸作品を制作、世界各地で作品を発表してきました。今回は、日本の謠本を用いた作品など32点を展示しました。

2月17日に開かれたオープニングセレモニーで、水田宗子理事長は「素材と感性と美意識が一人の作家の中に溶け込んだ美し

い作品を堪能していただきたい」と挨拶。ヴァリエさんとテープカットをして開幕を祝いました＝写真。



シリーズ

学生瓦版

城西大学広報委員会のメンバーが学内外で活躍する団体、個人を紹介する学生瓦版。今回もワイド版でお送りします。

自分が楽しむから選手も笑顔に

全学応援団チアリーダー部主将 千葉佳奈子さん(薬学部医療栄養学科4年)

「まず自分が楽しむ。そして人を笑顔にするのがチアリーダー部」。そう話してくれたのは、全学応援団チアリーダー部=写真=主将の千葉佳奈子さん(薬学部医療栄養学科4年)だ。

チアリーダー部は11人で男女駅伝部や硬式野球部の応援、高麗祭の演武をメインに活動している。本番の1か月前には週4日、午後5時から9時まで練習をする。専属のコーチはおらず、練習メニューやダンスの振り付けも自分たちで工夫しているという。

応援している選手が活躍し、「元気が出た」と声をかけてくれることがやりがいだ。城西生に力強いメッセージもらった。「チアリーダー部は11人中9人が初心者。しかし一生懸命努力することで自分が思っている以上に成長できる。学校生活で自分が成長できたと思えることを成し遂げ

てください。そして応援の依頼をお待ちしています!」

取材:丹波瞭(経済学部4年)



ジャンルもメンバーも横につながる

軽音楽研究会部長 瀧川瑞生さん(経済学部3年)

「楽器がある限り、幅広いジャンルでライブをやってきたい」。軽音楽研究会部長の瀧川瑞生さん(経済学部3年)は、明るく話してくれた。

軽音楽研究会は約80人で活動をしている。スタジオでの練

習と土日の学生ホールでのライブ=写真=を中心に活動を行うほか、毎週火曜日の部会でライブの日程調整や連絡事項の伝達を行っている。

スタジオでの練習は1か月に4~5回。バンドだけではなく個人でもスタジオを利用でき、曲合わせやセッションをしている。演奏するジャンルは「軽音楽」という枠にとらわれず、幅広いジャンルを手掛ける。ライブには15組ほどのバンドで参加するが、メンバーは固定していない。それにより、メンバーの入れ替わりが起こり、横のつながりが生まれ、連帯感も生まれるという。それがやりがいの一つともなっているようだ。

瀧川さんは「土日にライブをやっているので、時間があれば楽しんでほしい」と呼びかける。彼らが生み出す「軽音楽」という枠にとらわれない演奏を、ぜひ聴いてみてはどうだろう。

取材:戸塚優樹(経済学部4年)、東條理沙(経営学部2年)



※広報委員会ではニュース・話題を募集しています
jukoho1@gmail.com

株式会社アイビー・シー・エスさん 「学生を第一に」笑顔あふれる食堂

前号の「BRADY'S CAFÉさん」に引き続き、働くシリーズ第6弾として、第2食堂棟にある「株式会社アイビー・シー・エスさん」取材した。ここでは、地下1階のレストランけやきでご飯もの、1階のレストラン清流で麺類、売店でお弁当など、2階のアイビーカフェで軽食などのメニューを提供している=写真左。



また、3階の職員用食堂も経営している。本学には多くの食堂がある。その中でこの食堂にはいくつかの特徴がある。一つ目は大学内の団体とのコラボメニューだ。例えば、経済学部の末永ゼミやTFTとのコラボメニューを提供している。団体に協力することで従業員さんとしては仕事内容が増えてしまう。それでも、ゼミやサークルとコラボする理由は、学生とのコミュニケー

ションを取り、学生のために協力したいという思いから。二つ目は6号館での移動販売だ=写真右。この移動



販売を始めたのは、大学内で食事を済ませることができるようにというものだった。ここで販売しているお弁当やパンは、食堂1階の売店にもあり、添加物が入っていないのが特長だ。

普段、心掛けていることは「学生を第一に。そして、飽きないメニューを」とのこと。学生の休み時間は限られているため、少しでも早く提供し毎日来ても飽きないメニューを考えている。おすすめのメニューは「油そば」だ。この食堂では、イベントとして大盛りフェアやステーキフェアを実施している。みなさんも早い・安い・おいしい、そして笑顔あふれる食堂に足を運んでみてはいかが。

取材:池田みなみ(薬学部4年)、戸澤敦子(経営学部4年)、
郡司拓実(現代政策学部3年)

今までのプラネタリウムを超えたい 天文研究会前部長 大塚玄太さん(経済学部4年)

昨年の高麗祭で理事長賞を受賞したのが、天文研究会だ。前部長の大塚玄太さん(経済学部4年)は「今までもプラネタリウムを作成してきたが、自分の代は今までのプラネタリウムを超える物を作りたいと考えていた」と振り返る。高麗祭では、全体を3つの班に分けて活動した。プラネタリウム班、展示物

班、喫茶店班だ。プラネタリウムでは、2、3月の段階で作成計画を立て、5、6月で材料の調達、8月から作成



理事長賞の表彰状を持つ大塚さん(右)

を始めた。授業で使用する教室を段ボールなどでドーム状に装飾。土星や木星などの惑星をプラスチックなどで作り、展示をしたり、惑星についての解説なども行ったりした。喫茶店では、クッキーやコーヒーを販売した。

高麗祭以外の活動では、流星群などの天体観測や天体望遠鏡の組み立てなどを行っている。今年は8月中旬に見られるペルセウス流星群や12月に見られるふたご座流星群などに注目しているという。大塚さんは「新入生が増え観測の機会を増やしたい。そしてこの交流を機に高麗祭への準備に力を入れていきたい」と話している。

取材:郡司拓実、阿部匠(現代政策学部2年)、
山野紗穂(薬学部2年)、栗原勇斗(経営学部4年)



高麗祭での集合写真

ニュース

スカラシップ授与式

2015.5.12

「JMBAスカラシップ奨学生」授与式

連携協定を結んでいる大連理工大学管理学院からの大学院生(MBA)を対象にした「JMBAスカラシップ奨学生」の今年度の授与式が2015年5月12日、東京紀尾井町キャンパス1号棟で行われました。

今回授与されたのは、程丹燕さん▽鄭方鋭さん▽武慧さん▽劉楠さん——の4人。いずれも大学を卒業し、いったん企業で働いた後、大学院に入学しました。賞状授与の後、水田宗子理事長は挨拶で「先人たちの交流、連携の大切さを忘れずに、後輩のために色々な道を開いていってほしい。そして素晴らしい職業人になって、世界に貢献できる人材になっていただきたい」と呼びかけました。4人を代表して鄭さんが「1年間の過程を修了した後は、城西

大学の卒業生として、将来、世界のどこにいても自信を持って頑張れると確信しています」と謝辞を述べました。



授与式後の記念撮影

お知らせ

新しい薬草園温室と管理棟 地鎮祭

新薬学棟の建設に伴って取り壊しになる現薬草園温室に代わる新薬草園温室と管理棟の新築工事の地鎮祭が創立記念日の2015年4月20日、高麗川左岸の現地で行われました。地鎮祭には水田宗子理事長、森本雍憲学長ら教職員はじめ工事関係者合わせて約30人が参加。宮司の祝詞奏上などに続き、水田理事長らが鍬入れをし、玉ぐしを奉てんして工事の無事を祈りました=写真。



敷地は高麗川沿いの薬用植物園の北側約650平方メートルで、新温室はいずれも鉄骨造り平屋建ての低木温室(111平方メートル)と高木温室(83平方メートル)から成り、新たに鉄骨造り2階建ての管理棟(延べ188平方メートル)を建設します。温室の一部は2015



新薬草園温室と管理棟の外観イメージ

化石を学ぶワークショップ開催

2015.3.28~3.29

初めての“出張開催”に小学生約90人が参加

東武東上線北坂戸駅前の「北坂戸にぎわいサロン」で2015年3月28、29の両日、化石に触れて観察できるワークショップ(体験プログラム)が開かれました。小学生約90人が、石をハンマーで割って三葉虫などの化石を取り出したほか、クイズ形式で楽しく化石に関する知識を学びました。

大石道夫・東大名誉教授が寄託した貴重な化石などを常設展示する東京紀尾井町キャンパス3号棟の「水田記念博物館大石化石ギャラリー」で行っているワークショップを、同サロンで初めて“出張開催”しました。同ギャラリー学芸員の中田健太郎さんが「楽しみながら昔の地球の歴史や生き物を知ってほしい」と語りかけ=写真、クイズ形式で化石の基礎知識を教えました。子どもたちは、丁寧な指導を受けた後、化石が含まれることが多い「ノジュール」という石から三葉虫の化石を次々と取り出し、笑顔を浮かべました。子どもたちは、標準ラベルを付けた化石をお土産に持ち帰りました。



年6月末の竣工、管理棟は同10月末の竣工を見込んでいます。

水治運動療法のテキスト発行

水中での水圧や浮力を生かしプール内でさまざまな歩行運動を行う水中リハビリ運動を展開している水野加寿水泳部監督と短大の洪井二三男教授が、水治運動療法士の養成講座テキスト『W.A.P.T療法の概念』(NPO法人日本水治運動療法協会刊、3800円=税別)=写真=を発行しました。水野監督と洪井教授は、坂戸市と共同で高齢者や身体に障がいのある市民を対象にした「健康づくり水中リハビリ運動教室」を毎年開いており、テキストの中にも教室での実践例や効果などが盛り込まれています。テキストは「水中運動の基礎理論」「水治運動療法実践を考える」など全6章で、水野監督は「はじめに」で「水治運動療法を研究し、実践している指導者は国内にたくさんいる。今後の水治運動療法の指針になれば」と書いています。



越生町

勇壮な越生ばやしと 夜空を彩る花火

越生町の夏の風物詩である越生まつりが今年も7月25日、26日の2日間にわたって開催されます。

このまつりの始まりは文化文政(1804～1830)の頃からといわれています。町民の間では長らく「天王様」の名で親しまれてきましたが、平成元年からは、町制施行100周年を機に、「越生まつり」へと改名され、以来今年で27回目を数えます。

7月26日の日中には各種イベントが行われ、夕方には町の文化財にも指定されている6台の山車にそれぞれ提灯がともされ、曳き回しが始まります＝写真。役場前



の広場に山車が勢揃いすると、夜空を彩る大輪の花火が打ち上げられ、まつりは最高潮に達します。魅力ある越生まつりへ、みなさんぜひお越しください。

山車の曳き回しに参加してみませんか。越生まつりで曳き回しが行われる6台の山車に曳き手として参加することができます。ご希望の方は、まつり当日に各町内会へお問い合わせください。

東武線沿線情報

お得で可愛い切符 「KAWAGOE DISCOUNT PASS」発売中

東武東上線では2015年2月1日から、訪日外国人旅行者向けの川越へのお得なきっぷ「KAWAGOE DISCOUNT PASS」を発売しています。

日本政府観光局の発表では、3月の訪日外国人旅行者数は昨年を大きく上回り過去最高となりました。今後もさらなる増加が予想される中で、ぜひ東武東上線でお出かけいただき、「川越」の魅力を多くの方に知っていただきたいと発売しました。

東上線沿線には留学生も数多くいらっしゃいます。ぜひ外国人のお友達がいらした際には、お得なきっぷ「KAWAGOE DISCOUNT PASS」を使ってお出かけください。東上線池袋駅～川越駅または川越市駅の往復割引乗車券とお土産物店や飲食店等の指定された6施設で提示すると、割引やサービスが受けられる特典がついています。また、きっぷは提灯型になっており、お土産にもなる可愛い切符です。ぜひ、ご利用ください。



KAWAGOE DISCOUNT PASS 大人用⑤・小児用⑥

日高市

500万本の曼珠沙華が 一面を真紅に

市内にある「巾着田」。清流、高麗川が大きく蛇行した地形がきんちゃくの形に似ていることから、こう呼ばれるようになりました。直径約500m、面積約22%の大きさの土地に、菜の花や桜、アカシア、紫陽花、蓮、コスモスなど四季折々の花が咲き、毎年多くの人が訪れています。



なかでも、9月下旬から10月上旬にかけては約500万本の曼珠沙華が咲き誇り、群生地一面が真紅に染まります＝写真。曼珠沙華の開花シーズンには、開花の状況を日高市ホームページに掲載します。

巾着田には高麗川に架かる「あいあい橋」と「ドレミファ橋」という景観にマッチした歩行者専用の橋もあります。豊かな自然に恵まれた巾着田で、清流のせせらぎに耳を傾けながら、魅惑の世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。

編集／学校法人城西大学 広報センター
発行／城西大学 総務部総務課
〒350-0295
埼玉県坂戸市けやき台1-1
TEL049-271-7712
<http://www.josai.ac.jp>

2015年6月発行

